

Development of bioprocess for treatment of Mn(II)-contaminated metal refinery wastewaters

サンティサック, ギッチャーヌギット

<https://doi.org/10.15017/2534416>

出版情報 : Kyushu University, 2019, 博士 (工学), 課程博士
バージョン :
権利関係 :

氏 名	Santisak Kitjanukit		
論 文 名	Development of bioprocess for treatment of Mn(II)-contaminated metal refinery wastewaters (マンガン含有金属製錬廃液処理のためのバイオプロセス開発に関する研究)		
論文調査委員	主 査	九州大学	教授 笹木 圭子
	副 査	九州大学	准教授 沖部 奈緒子
	副 査	九州大学	教授 久場 隆広

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究では、製錬現場の Mn 汚染自然減衰機構を解明すると同時にそれに関わる有用な Mn 酸化細菌の単離に成功した。本単離株の利用により従来法の代替となり得る、低コストの Mn 酸化処理バイオプロセスを提案するに至った。加えて生物起源 Mn 酸化物の亜硫酸処理への応用可能性など、その付加価値を見出した。これら一連の知見は資源環境工学上寄与するところが多い。よって、本論文は博士（工学）の学位に値するものであると認める。